

# 石油製品の価格動向について

平成18年5月17日  
生活環境部  
総務企画グループ

## 1 石油製品の価格動向調査の結果

県内の石油製品4品目について、5月8~11日に価格動向調査を実施しましたが、その結果については以下のとおりです（非定店調査）。

（単位：円、消費税込み）

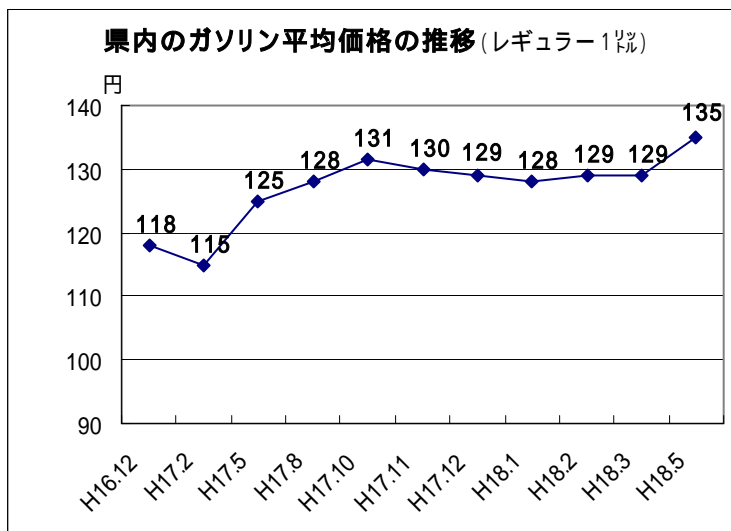
品目名	規格・容量	店舗形態	3月調査の 平均価格	5月調査の 平均価格	対3月比
ガソリン	レギュラー1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	129	135	104.7%
		セルフ	127	131	103.1%
軽油	個人消費向け1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	107	113	105.6%
		セルフ	104	109	104.8%
灯油	店頭価格、18ℓ	一般店舗	1,348	1,385	102.7%
		セルフ	1,324	1,335	100.8%
	配達価格、18ℓ	一般店舗	1,472	1,484	100.8%
LPガス	一般家庭用、10m <sup>3</sup>	一般店舗	6,611	6,644	100.5%

3月の調査結果と比較すると、原油価格の高騰を受けて、ガソリン、軽油とも上昇しており、また、需要期から外れた灯油についても小幅ながら再び上昇に転じ、LPガスも高水準で推移している。今後も、原油価格が高水準で推移する見込みであり、また、仕切価格の引き上げが想定されることから、引き続き価格の推移を注視していく必要がある。

## 2 県内の石油製品価格の推移

### (1) ガソリン価格

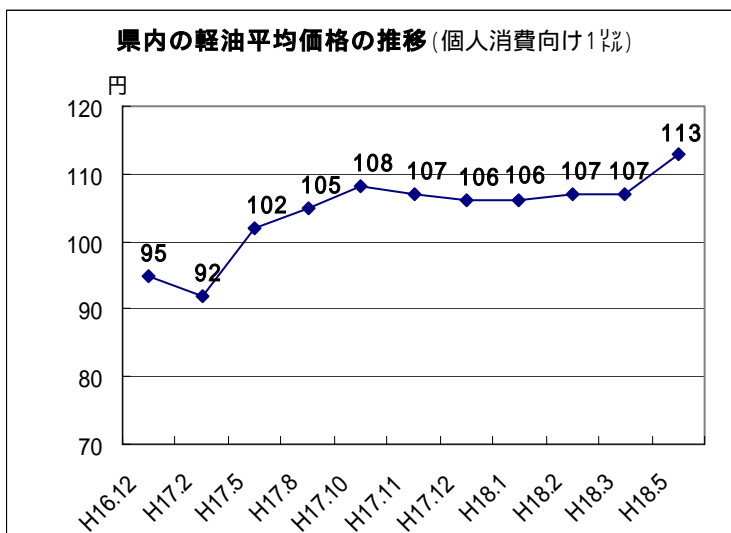
一般店舗価格



今年2・3月は129円、4月は130円(石油情報センター発表による)と、ほぼ横ばいで推移していたが、主要元売会社が5月からの仕切価格を大幅に引き上げたことを受け、135円と大幅な上昇となった。今後も、仕切価格の引き上げが想定されることなどから、引き続き価格の推移を注視していく必要がある。

### (2) 軽油価格

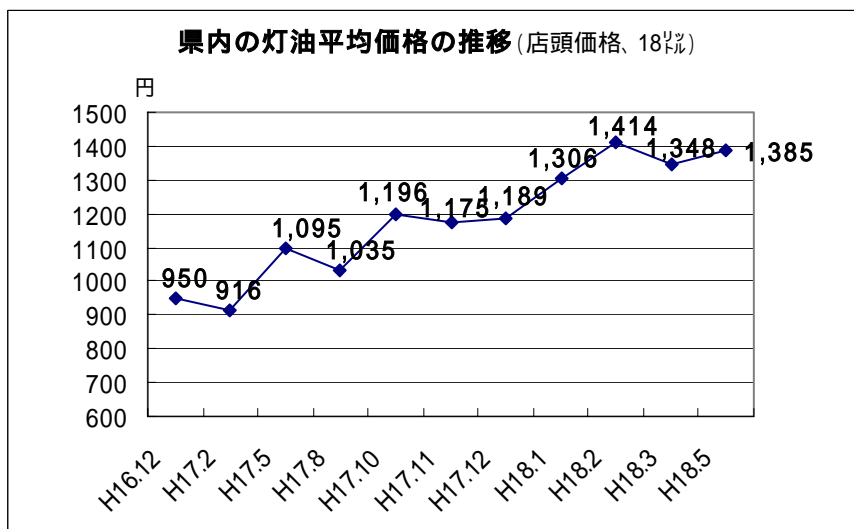
一般店舗価格



今年2・3月は107円、4月は108円(石油情報センター発表による)と、ほぼ横ばいで推移していたが、主要元売会社が5月からの仕切価格を大幅に引き上げたことを受け、113円と大幅な上昇となった。今後も、仕切価格の引き上げが想定されることなどから、引き続き価格の推移を注視していく必要がある。

### (3) 灯油価格

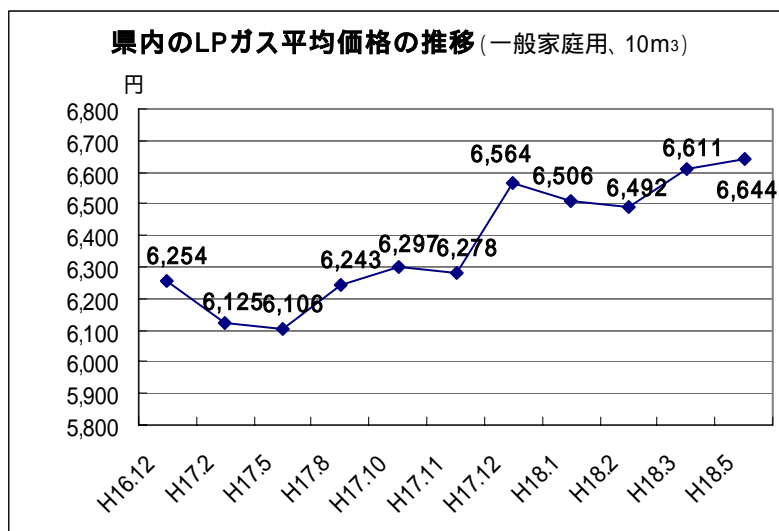
一般店舗価格



今年2月以降、3月1,348円、4月1,340円(石油情報センター発表による)と、シーズンが終了間近であることを受け値下がり傾向にあったが、原油価格の高騰を受け、ガソリン等に比べて小幅であるが、再び上昇に転じた。

### (4) LPガス価格

一般店舗価格



昨年12月以降、高水準での推移が続いており、5月には6,644円と前回調査時よりさらに上昇した。今後も原油価格等が高水準で推移することが想定され、また、日本にとって最大のLPガス供給国であるサウジアラビアの国営石油会社の船積み価格(プロパン)が依然として高水準で推移していることなどから、引き続き価格の推移を注視していく必要がある。